2011年度外科学総論Ⅱ　追試

Ⅰ. 田中

次に挙げる3つの疾患のうち1つを選択し、知っていることを述べよ

（複数の疾患について回答した場合には点数を与えない）

乳幼児腸重積症

ヒルシュスプルング病

先天性横隔膜ヘルニア（Bochdalek孔ヘルニア）

Ⅱ. 蔵並

1. 乳がんに対する内分泌療法の適応となる、生物学的特徴を述べよ
2. 閉経前・後に分け、体内における女性ホルモンの分泌動態と使用薬剤を記せ

　Ⅲ. 平田

　　SIRS(Systemic Inflammatory Response Syndrome)の定義について

　　各種の（　　　）により刺激を受けた（　　　）細胞、（　　　）細胞が、

　　（　　　）を産生して、それが血中へ吸収され全身を循環し（　　　）な炎症反応を

　　起こしている状態であり、SIRSは（　　　）血症と言える

Ⅳ. 中村

外ヘルニアを記せ

　Ⅴ. 内藤

1. 手術侵襲により増加するホルモンは（　　　）（　　　）（　　　）がある。

これらのホルモンにより、肝臓や筋肉に蓄積した（　　　）が（　　　）に分解されるため、術後は血糖値が上昇する

1. 低酸素状態では好気的解糖系であるTCA回路が阻害されるため、グルコースが（　　　）に分解され、（　　　）をきたしやすい
2. 細胞や組織のために物質を合成することを（　　　）といい、分解することを（　　　）という。手術時はタンパク質と脂肪の（　　　）が亢進する

Ⅵ. 島田

以下の疾患のうち、1つを選び、ショックに至る病態について説明してください

　肺動脈血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）

　緊張性気胸

　虫刺症（スズメバチ）

　Ⅶ. 池田

　　輸液の投与量を決定するに当たり、必要な情報を5つ列挙せよ

　Ⅷ. 榎本

　　甲状腺乳頭癌について次の項目を説明せよ

1. 発生頻度
2. 腫瘍の発育
3. 転移傾向
4. 予後
5. 細胞診の特徴